

施策4-8-1 スポーツのまちづくりの推進

直接目標

- スポーツを身近に感じ、楽しむ市民を増やす

主な成果指標

名 称 (指標の出自)	現 状	第1期実施計画期 間における目標値	第2期実施計画期 間における目標値	第3期実施計画期 間における目標値
週 1 回 以上のス ポー ツ実施率 (市民アンケート)	34.8% (平成27年度)	36%以上 (平成29年度)	38%以上 (平成33年度)	40%以上 (平成37年度)
年 1 回 以上の直接観 戦率 (市民アンケート)	30.4% (平成27年度)	31%以上 (平成29年度)	33%以上 (平成33年度)	35%以上 (平成37年度)
ス ポー ツを支える活 動に年 1 回 以上参加 した人の割合 (市民アンケート)	5.7% (平成27年度)	6%以上 (平成29年度)	8%以上 (平成33年度)	10%以上 (平成37年度)
ス ポー ツセンタ ー等 施設利用者数 (市民・こども局調べ)	2,618,847 人 (平成26年度)	263 万人以上 (平成29年度)	276 万人以上 (平成33年度)	276 万人以上 (平成37年度)

計画期間の主な取組

事務事業名	現状	事業内容・目標			
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降	
○市民スポーツ推進事業	●市民大会等各種スポーツ大会の開催 (H26 開催回数：53 回) ●市内の企業等が所有するスポーツ施設の開放事業の実施 (5 施設) ●スポーツ関係団体等と協働・連携した取組の推進	●市民大会等各種スポーツ大会の開催 (開催回数：53 回以上) ●市内の企業等が所有するスポーツ施設の開放事業の実施 ●スポーツ関係団体等と協働・連携したスポーツ活動への市民の参加促進	→ → →	事業推進	
○地域スポーツ推進事業	●スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の支援 ●同じ地域の住民が会員となって自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの活動・設立支援 (H27 10 クラブ)	●スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の支援 ●同じ地域の住民が会員となって自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの活動・設立支援	→ →	事業推進	
○競技スポーツ大会開催・支援事業	●国際陸上競技大会（ゴールドングランプリ川崎）の誘致・開催 (H27 入場者数：16,000 人) ●多摩川マラソンや多摩川リバーサイド駅伝など多摩川を活用したスポーツ大会等の開催 ●国際トランポリンジャンプオープン開催	●国際陸上競技大会（ゴールドングランプリ川崎）の誘致・開催 (入場者数：18,000 人以上) ●多摩川マラソンや多摩川リバーサイド駅伝など多摩川を活用したスポーツ大会等の開催 ●国際トランポリンジャンプオープン開催	●国際陸上競技大会（ゴールドングランプリ川崎）の誘致・開催 (入場者数：21,000 人以上) ●多摩川マラソンや多摩川リバーサイド駅伝など多摩川を活用したスポーツ大会等の開催	●国際大会の開催に向けた検討	

事務事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
○ホームタウンス ポーツ推進事業	●かわさきスポーツパ ートナー等との協働・連携 による本市の魅力発信 ・かわさきスポーツパ ートナー等によるふ れあいスポーツ教室 の開催 (H26 開催回数 : 36 回) ・ホームゲーム等や市 内で行われる公式戦 の開催支援及び市民 招待の実施 (H26 招待者数 : 666 人) ・かわさきスポーツパ ートナー等による地 域イベントへの参加、 地域貢献活動の実施 ・市広報媒体の活用等 を通じたかわさきス ポーツパートナー等 のPR実施	●かわさきスポーツパ ートナー等との協働・連携 による本市の魅力発信 ・かわさきスポーツパ ートナー等によるふ れあいスポーツ教室 の開催 (開催回数 : 36 回以上) ・ホームゲーム等や市 内で行われる公式戦 の開催支援及び市民 招待の実施 (招待者数 : 670 人以上) ・かわさきスポーツパ ートナー等による地 域イベントへの参加、 地域貢献活動の実施 ・市広報媒体の活用等 を通じたかわさきス ポーツパートナー等 のPR実施	→	事業推進
	●Jリーグクラブと連携 した魅力ある地域づくり の推進 ・川崎フロンターレ後 援会との連携による 市民認知度向上の取 組の推進 ・川崎フロンターレと 連携した市制記念試 合への市民招待の実 施(H27 招待者数 : 2,000 人) ・川崎フロンターレに よる小・中学校等で の巡回サッカー教室 の実施 (H26 開催回数 : 118 回) ・川崎フロンターレに よる地域イベントへ の参加、地域貢献活 動の実施	●Jリーグクラブと連携 した魅力ある地域づくり の推進 ・川崎フロンターレ後 援会との連携による 市民認知度向上の取 組の推進 ・川崎フロンターレと 連携した市制記念試 合への市民招待の実 施(招待者数 : 2,000 人) ・川崎フロンターレに よる小・中学校等で の巡回サッカー教室 の実施 (開催回数 : 120 回以上) ・川崎フロンターレに よる地域イベントへ の参加、地域貢献活 動の実施	→	
	●アメリカンフットボ ールを活用したまちづ くりの推進 ・「アメリカンフット ボールを活用したま ちづくり連絡調整会 議」との連携による 市民認知度向上の 取組の推進 ・競技普及を目的 とした選手やチアリ ーダーの地域イベ ントへの参加 ・「アメフト×商店 街」など、商店街 と協働して行うイ ベントの実施 ・Xリーグ等の公 式戦への市民招待 の実施 (H26 招待者数 : 1,191 人以上) ・フラッグフット ボール等の普及に 向けた巡回教室、 大会の開催	●アメリカンフットボ ールを活用したまちづ くりの推進 ・「アメリカンフット ボールを活用したま ちづくり連絡調整会 議」との連携による 市民認知度向上の 取組の推進 ・競技普及を目的 とした選手やチアリ ーダーの地域イベ ントへの参加 ・「アメフト×商店 街」など、商店街 と協働して行うイ ベントの実施 ・Xリーグ等の公 式戦への市民招待 の実施 (招待者数 : 1,200 人以上) ・フラッグフット ボール等の普及に 向けた巡回教室、 大会の開催	→	

事務事業名	現状	事業内容・目標			
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降	
○スポーツセンター等管理運営事業	●スポーツセンター等の体育室・トレーニング室などの利用提供の推進 ●生涯スポーツの推進に向けたスポーツ教室及びイベント等の実施 ●施設の長寿命化に向けた修繕計画の検討・策定	●スポーツセンター等の体育室・トレーニング室などの利用提供の推進 ●生涯スポーツの推進に向けたスポーツ教室及びイベント等の実施 ●施設の長寿命化に向けた修繕計画に基づく工事の実施	→	●等々力緑地へのパークマネジメント導入によるとどろきアリーナと他施設等との連携	
○スポーツ・文化総合センター整備・運営事業	●PFI法に基づく事業の推進 ・基本設計及び実施設計 ・既存施設の解体工事 ・新築工事の着手	●スポーツ・文化総合センターの整備推進	●スポーツ・文化総合センターの完成・供用開始	事業推進	
○東京オリンピック・パラリンピック推進事業	●「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」の策定 ●JOC（日本オリンピック委員会）パートナー都市協定の締結とトップアスリートの就職を支援するアスナビなどJOCと連携した取組の実施 ●事前キャンプの受け入れに向けた調整 ●団体・企業・有識者など多様な主体の協働により取組を進めていく場としての「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」の設置 ●アスリートの活動場所や出場機会の充実に向けた調整	●大会開催のスケジュールに応じた推進ビジョンの改定 ●JOCパートナー都市協定に基づく取組の推進 ●事前キャンプの受け入れに向けた取組の推進 ●「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」の運営と多様な主体の連携によるプロジェクトの企画実施 ●障害者スポーツ体験講座の実施やアスリートの活動場所や出場機会の充実など、「かわさきパラムーブメント」普及に向けた各種イベントや事業の実施 ●大会開催とその後のまちづくりに向けた多言語対応など、さまざまな分野における取組の調整	→ → → → → →	●東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催（H32） ●大会開催後のレガシーの形成	

施策4-8-2 市民の文化芸術活動の振興

直接目標

- 市内の文化芸術活動を推進し、一層市民に身近なものにする

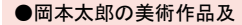
主な成果指標

名 称 (指標の出自)	現 状	第1期実施計画期間における目標値	第2期実施計画期間における目標値	第3期実施計画期間における目標値
主要文化施設の入場者数 (市民・こども局調べ)	1,269,188 人 (平成26年度)	135.6 万人以上 (平成29年度)	140.5 万人以上 (平成33年度)	140.5 万人以上 (平成37年度)
年 1 回以上文化芸術活動をする人の割合 (市民アンケート)	14.6% (平成27年度)	16%以上 (平成29年度)	18%以上 (平成33年度)	20%以上 (平成37年度)

計画期間の主な取組

事務事業名	現状	事業内容・目標			
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降	
○市民文化活動支援事業	●文化財団をはじめとする文化団体等と協働・連携した文化芸術に関する鑑賞・普及事業の取組の推進	●文化財団をはじめとする文化団体等と協働・連携した文化芸術に関する鑑賞・普及事業の取組の推進		事業推進	
	●市文化賞等の受賞者の選考及び贈呈式の開催	●市文化賞等の受賞者の選考及び贈呈式の開催			
	●ラゾーナ川崎プラザソルなど各種文化施設の運営支援と施設の計画的な維持・補修の実施	●ラゾーナ川崎プラザソルなど各種文化施設の運営支援と施設の計画的な維持・補修の実施			
	●小黒恵子童謡記念館の再開に向けた検討	●小黒恵子童謡記念館の整備、耐震等工事の実施	●小黒恵子童謡記念館のリニューアルオープン		
	●川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）の開催支援（H26 参加者数：26,500 人）	●川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）の開催支援（参加者数：26,600 人以上）			
	●かわさき市民第九コンサートやプラチナファッションショーの開催（H26 市民第九コンサート参加者数：2,065 人）	●かわさき市民第九コンサートやプラチナファッションショーの開催（市民第九コンサート参加者数：2,000 人以上）			
	●地名に関する市民講座や調査・研究の実施	●地名に関する市民講座や調査・研究の実施			
○文化財保護・活用事業	●「文化財保護活用計画」に基づく文化財の調査・保護・活用事業の推進	●「文化財保護活用計画」に基づく文化財の調査・保護・活用事業の推進		事業推進	
	●指定文化財の保存修理等の実施	●指定文化財の保存・修理等の実施			
	●文化財ボランティアの育成・確保（H26 ボランティアが参加した事業数：13）	●文化財ボランティアの育成・確保（ボランティアが参加した事業数：15 以上）			
	●埋蔵文化財の発掘調査等の実施	●埋蔵文化財の発掘調査等の実施			
市民の参加と文化芸術活動を行う団体等との協働・連携により、誰もが手軽に文化芸術にふれ、より多くの市民が文化芸術の楽しさを楽しみ、本市に愛着と誇りを持ち、創造的で人間らしく感性豊かに暮らせる地域づくりを進めます。					
市民の郷土に対する認識を深め、地域の人々の心のよりどころとして、文化の向上と発展に貢献するため、歴史の営みの中で、自然環境や社会・生活を反映しながら、育まれ、継承されてきた文化財の適切な保存と活用を進めます。					

事務事業名	現状	事業内容・目標			
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降	
○東海道かわさき宿交流館管理運営事業	●東海道川崎宿の歴史・民俗資料等の展示 (H26 利用人数 : 49,260 人) ●東海道川崎宿に関する地域活動の支援や地域交流拠点としての取組の推進	●東海道川崎宿の歴史・民俗資料等の展示 (利用人数 : 50,000 人以上) ●東海道川崎宿に関する地域活動の支援や地域交流拠点としての取組の推進	 	事業推進	
○市民ミュージアム管理運営事業	●漫画・アニメ・映像・写真など、館の特徴を活かした展覧会の開催 (H26 利用人数 : 133,954 人) ●ホームページやSNSを活用した情報発信の更なる強化に向けた取組の推進 ●文化芸術人材の交流の場の形成・活動機会の創出 ●館運営に民間のノウハウを活かすため指定管理者制度導入の検討 ●施設の長寿命化に向けた取組の推進	●漫画・アニメ・映像・写真など、館の特徴を活かした展覧会の開催 (利用人数 : 191,000 人以上) ●ホームページやSNSを活用した情報発信の更なる強化に向けた取組の推進 ●文化芸術人材の交流の場の形成・活動機会の創出 ●指定管理者の募集及び選定 ●施設の長寿命化に向けた取組の推進	●漫画・アニメ・映像・写真など、館の特徴を活かした展覧会の開催 (利用人数 : 201,000 人以上)   ●指定管理者による運営の開始 	事業推進	
○大山街道ふるさと館管理運営事業	●大山街道に関する歴史・民俗資料等の展示 (H26 利用人数 : 39,032 人) ●大山街道に関する地域の文化活動への支援や地域団体と連携した大山街道の魅力を発信する取組の推進	●大山街道に関する歴史・民俗資料等の展示 (利用人数 : 41,000 人以上) ●大山街道に関する地域の文化活動への支援や地域団体と連携した大山街道の魅力を発信する取組の推進	●大山街道に関する歴史・民俗資料等の展示 (利用人数 : 43,000 人以上) 	事業推進	
○市民プラザ管理運営事業	●文化・教養に関する教室の開催 (H26 全館利用人数 : 463,400 人) ●プール・体育館などの利用提供の推進 ●市民の相互の交流促進に向けた行事等の実施 ●中期修繕計画に基づく施設整備の実施	●文化・教養に関する教室の開催 (全館利用人数 : 478,200 人以上) ●プール・体育館などの利用提供の推進 ●市民の相互の交流促進に向けた行事等の実施 ●中期修繕計画に基づく施設整備の実施	●文化・教養に関する教室の開催 (全館利用人数 : 485,600 人以上) ●プール・体育館などの利用提供の推進  	事業推進	

事務事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
たちばなかなが ○橋樹官衙遺跡群 保存整備・活用事業 古代川崎の歴史的な文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橋樹官衙遺跡群」（橋樹郡衙跡と影向寺遺跡）の活用を図ります。	●橋樹官衙遺跡群の国史跡指定（H27.3）・保存活用計画の策定に向けた検討 ●橋樹官衙遺跡群の調査・研究・保存事業の実施 ●史跡めぐり等活用事業の実施（H26 参加者数：100 人） ●市民との協働による環境整備・維持管理の実施	●古代武蔵国橋樹郡の役所跡である橋樹郡衙跡と郡寺である影向寺からなる「橋樹官衙遺跡群保存活用計画」の検討 ●橋樹官衙遺跡群の調査・研究・保存事業の実施 ●史跡めぐり等活用事業の実施（参加者数：100 人以上） ●市民との協働による環境整備・維持管理の実施	●「橋樹官衙遺跡群保存活用計画」の策定 ●「橋樹官衙遺跡群史跡整備計画」の検討	●保存活用計画に基づいた保存管理、活用の実施 ●「橋樹官衙遺跡群史跡整備計画」の策定
○藤子・F・不二雄 ミュージアム事業 本市ゆかりの漫画家藤子・F・不二雄の作品に込められたメッセージを子どもから大人まで幅広い世代に伝えることで、文化芸術活動の振興と本市の魅力を増進するため「藤子・F・不二雄ミュージアム」を運営します。	●藤子・F・不二雄の作品及び資料の展示（H26 入館者数：474,667 人） ●藤子・F・不二雄ミュージアムの魅力を国内外へ発信する取組の推進 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進	●藤子・F・不二雄の作品及び資料の展示（入館者数：474,000 人以上） ●藤子・F・不二雄ミュージアムの魅力を国内外へ発信する取組の推進 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進 ●開館 5 周年記念事業の実施	  	事業推進
○岡本太郎美術館 管理運営事業 本市ゆかりの芸術家岡本太郎の美術作品や資料を展示することで、市民の美術に関する創造的活動を促進し、市民の芸術の発展と文化の進展を図るため、近現代美術を扱う美術館として「岡本太郎美術館」を運営します。	●岡本太郎の美術作品及び資料の展示（H26 入館者数：73,170 人） ●図録・資料等の外国語訳など国外への情報発信 ●他都市を巡回する岡本太郎関連の展覧会など全国に向けた情報発信 ●作品や資料のデジタル化事業の推進 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進 ●美術館機能の維持・向上のための施設の整備 ●屋外作品の維持・補修の実施	●岡本太郎の美術作品及び資料の展示（入館者数：75,000 人以上） ●図録・資料等の外国語訳など国外への情報発信 ●他都市を巡回する岡本太郎関連の展覧会など全国に向けた情報発信 ●作品や資料のデジタル化事業の推進 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進 ●美術館機能の維持・向上のための施設の整備 ●屋外作品の維持・補修の実施	     	事業推進

事務事業名	現状	事業内容・目標			
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降	
○日本民家園管理運営事業 国・県・市の指定文化財25件を有する日本有数の古民家の野外登録博物館として、その貴重な文化財を適切に保存・活用し、市民の文化・学術・教育の向上を図るため、「日本民家園」を運営します。 また、平成29年に開園50周年を迎えることから、記念事業等を実施し、更なる魅力向上を図ります。	●江戸時代の古民家の野外展示 (H26 利用人数 : 124,527 人) ●伝統生活文化に関する企画展示及び各種講座等による教育普及事業の実施 ●50 周年記念に向けた取組の検討 ●観光客の積極的誘致に向けた広報活動の実施 ●文化財建造物・民具などの保存・整備と調査研究、維持・補修 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進	●江戸時代の古民家の野外展示 (利用人数 : 125,000 人以上) ●伝統生活文化に関する企画展示及び各種講座等による教育普及事業の実施 ●50 周年記念事業の準備 ●観光客の積極的誘致に向けた広報活動の充実 ●文化財建造物・民具などの保存・整備と調査研究、維持・補修(屋根補修、耐震補強等) ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進	●江戸時代の古民家の野外展示 (利用人数 : 138,000 人以上) ●50 周年記念事業の実施	事業推進	
○青少年科学館管理運営事業 天文・自然・科学の3つの柱を中心に、市民の科学知識の普及啓発や科学教育の振興のため、市唯一の自然系登録博物館として、「青少年科学館」(かわさきと緑の科学館)を運営します。	●自然・天文・科学の3分野の実物・標本・模型などの資料展示 (H26 利用人数 : 292,238 人) ●自然観察教室や実験教室など、体験を通じた教育普及の取組の推進 ●プラネタリウムを活用した天文知識の普及啓発の実施 ●ボランティア、市民活動団体等の育成・支援 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進	●自然・天文・科学の3分野の実物・標本・模型などの資料展示 (利用人数 : 305,000 人以上) ●自然観察教室や実験教室など、体験を通じた教育普及の取組の推進 ●プラネタリウムを活用した天文知識の普及啓発の実施 ●ボランティア、市民活動団体等の育成・支援 ●生田緑地における他美術館や博物館と連携した取組の推進		事業推進	
○アートセンター管理運営事業 芸術文化の創造・発信・交流を促進するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を提供することで、市民の芸術文化の発展に寄与するための創造・発信拠点として、「アートセンター」を運営します。	●小劇場や映像館を活用した芸術文化の鑑賞会等の開催 (H26 利用人数 : 82,340 人) ●市民の芸術文化の創造や交流の促進に向けた各種研修やワークショップ等の実施 ●青少年の舞台芸術活動への支援の取組の推進 ●アーティストの育成・支援の取組の推進 ●新百合ヶ丘駅周辺の文化施設等との連携による取組の推進	●小劇場や映像館を活用した芸術文化の鑑賞会等の開催 (利用人数 : 83,000 人以上) ●市民の芸術文化の創造や交流の促進に向けた各種研修やワークショップ等の実施 ●青少年の舞台芸術活動への支援の取組の推進 ●アーティストの育成・支援の取組の推進 ●新百合ヶ丘駅周辺の文化施設等との連携による取組の推進		事業推進	

施策4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進

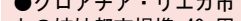
直接目標

- 音楽や映像を活用して、都市の魅力向上や地域の活性化につなげる

主な成果指標

名 称 (指標の出典)	現 状	第1期実施計画期 間における目標値	第2期実施計画期 間における目標値	第3期実施計画期 間における目標値
「音楽のまち」の環境 が充実していると感じ る人の割合 (市民アンケート)	53.3% (平成27年度)	55%以上 (平成29年度)	57%以上 (平成33年度)	60%以上 (平成37年度)
ミューザ川崎シンフォ ニーホール主催・共催 公演の入場者率 (市民・こども局調べ)	72% (平成26年度)	73%以上 (平成29年度)	74%以上 (平成33年度)	75%以上 (平成37年度)
「映像のまち」の取組 を評価できる人の割合 (市民アンケート)	18.4% (平成27年度)	20%以上 (平成29年度)	25%以上 (平成33年度)	30%以上 (平成37年度)

計画期間の主な取組

事務事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
○音楽のまちづくり推進事業 多様な活動団体等と協働・連携しながら、幅広い世代が身近に音楽を楽しめる環境づくりを進めることで、まちに音楽があふれ、市民の豊かな心を育み、活力ある地域社会づくりを進めます。	●多様な活動団体等との協働・連携に向けた「音楽のまち・かわさき」推進協議会への支援 ●「かわさきジャズ」の開催（H27 入場者数：22,000 人） ●「アジア交流音楽祭」の開催（H27 入場者数：80,000 人） ●シニア世代向け「プラチナ音楽祭」の開催（H27 入場者数：2,000 人） ●東京交響楽団による市内巡回コンサートの開催（H26 開催回数：5 回） ●川崎市出身の坂本九の音楽や映像を通じた魅力発信事業の実施 ●港町歌碑「港町十三番地」を活用した魅力発信の取組の推進 ●オーストリア・ザルツブルク市との若手演奏家の交流促進に向けたコンサートの開催	●多様な活動団体等との協働・連携に向けた「音楽のまち・かわさき」推進協議会への支援 ●「かわさきジャズ」の開催（入場者数：22,000 人以上） ●「アジア交流音楽祭」の開催（入場者数：80,000 人以上） ●シニア世代向け「プラチナ音楽祭」の開催（入場者数：2,000 人以上） ●東京交響楽団による市内巡回コンサートの開催（開催回数：5 回以上） ●川崎市出身の坂本九の音楽や映像を通じた魅力発信事業の実施 ●港町歌碑「港町十三番地」を活用した魅力発信の取組の推進 ●オーストリア・ザルツブルク市との若手演奏家の交流促進に向けたコンサートの開催 ●韓国・富川市との友好都市提携 20 周年を記念した音楽等による文化交流事業の実施	        	事業推進

事務事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
○川崎シンフォニーホール管理運営事業	●音楽ホールを活用したクラシックオーケストラ等による音楽の鑑賞機会の提供 (H26 主催・共催公演来場者数：90,920 人) ●子どもから大人までが気軽に音楽に興味を持てるコンサートの開催 ●本市のイメージアップに向けたミュウザ川崎シンフォニーホールの国内外への魅力の発信 ●中長期的な修繕計画の推進 ・大規模修繕の内容や時期の検討	●音楽ホールを活用したクラシックオーケストラ等による音楽の鑑賞機会の提供 (主催・共催公演来場者数：100,000 人以上) ●子どもから大人までが気軽に音楽に興味を持てるコンサートの開催 ●本市のイメージアップに向けたミュウザ川崎シンフォニーホールの国内外への魅力の発信 ●中長期的な修繕計画の推進 ・ホール設備等の大規模修繕の内容検討	●中長期的な修繕計画の推進 ・ホール設備等の大規模修繕の内容検討・工事設計	●中長期的な修繕計画の推進 ・ホール設備等の大規模修繕の実施
○映像のまち・かわさき推進事業	●多様な映像関係主体により構成される「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動支援 ●毎日映画コンクール表彰式の本市開催の支援 ●「KAWASAKI しんゆり映画祭」の開催 (H26 入場者数：2,331 人) ●教育機関との連携による映像制作活動等を通じた映像教育の普及の推進 ●地域における映像制作活動等への支援 ●本市のイメージアップに向けたドラマや映画などの映像作品のロケ誘致活動の推進 (H26 市の施設におけるロケ件数：170 件) ●ロケ地情報のホームページによる発信、PR パネル展の開催及び情報誌の発行 ●地域映像アーカイブ化に向けた検討	●多様な映像関係主体により構成される「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動支援 ●毎日映画コンクール表彰式の本市開催の支援 ●「KAWASAKI しんゆり映画祭」の開催 (入場者数：2,400 人以上) ●教育機関との連携による映像制作活動等を通じた映像教育の普及の推進 ●地域における映像制作活動等への支援 ●本市のイメージアップに向けたドラマや映画などの映像作品のロケ誘致活動の推進 (市の施設におけるロケ件数：170 件以上) ●ロケ地情報のホームページによる発信やPR パネル展の開催及び情報誌の発行 ●地域映像アーカイブ化に向けた取組の推進	●「KAWASAKI しんゆり映画祭」の開催 (入場者数：2,500 人以上)	事業推進